



## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン  
 コード番号 3319 URL <http://www.golfdigest.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 石坂 信也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 酒井 敦史 TEL 03-5408-3188  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	5,888	1.8	△434	—	△439	—	△286	—
23年12月期第2四半期	5,782	△6.0	△166	—	△170	—	△134	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △316百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △109百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△1,943.44	—
23年12月期第2四半期	△840.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	7,267	1,757	23.4
23年12月期	7,724	2,079	26.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,699百万円 23年12月期 2,015百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	11.6	50	—	50	—	20	—	135.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

#### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(注) 第2四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	164,490株	23年12月期	164,490株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	17,198株	23年12月期	17,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	147,292株	23年12月期2Q	160,170株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、T D n e t で平成24年8月10日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年6月30日）における経営環境は、東日本大震災からの復興需要等を背景に一部回復の兆しはみられましたが、長引く欧州債務危機による世界的な金融不安や国内の電力供給問題など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

ゴルフ業界におきましては、若手プロゴルファーの国内外でのさらなる活躍やメディアへの露出等が、引き続きゴルフ人気を牽引している一方、ゴルフ用品市場における価格競争の激化やゴルファーの高齢化といった厳しい業界環境があり、これらの状況を打破すべく関係各社は様々なサービス展開につとめております。

一方、インターネット業界では、その利用率が13歳から49歳で9割を超え、60歳以上では前年比3%以上の伸びを示すほか、これら利用者の6割がインターネットショッピングを利用する等、人々の消費活動におけるインターネットの利用は一層進みつつあります。また、モバイル端末からのインターネット利用に関しても、フィーチャーフォンに比べてスマートフォン利用者の方がインターネットショッピングに対してより積極的であるとの調査があり（注1）、現在進んでいるスマートフォンの普及によってインターネットを通じた消費活動の拡大が加速するものと見込まれます。さらには、Facebookに代表されるソーシャルサービスの普及によっても、新たなコミュニケーションスタイルをきっかけとした消費活動が生まれつつあります。

このような環境下、当社グループは、他企業と積極的に連携することでゴルフの多様な楽しみ方を提案する等ゴルファーのゴルフライフをサポートする活動に取り組んでまいりました。また、昨年刷新したIT基盤を活用し、スマートフォン向けサービスの充実、ソーシャルサービスを活用したマーケティング活動を実行したほか、既存サービスサイトのさらなる利便性向上のための改善等を進めてまいりました。そして、5月には、GDOクラブ会員数が200万人を突破し、当社インターネットサイトの集客力は着実に向上しております。加えて、同月、ゴルファーの裾野拡大のため、米国最大のゴルフレッスンチェーン運営会社と提携したGolfTEC by GDOの日本第一号店を開店し、レッスン事業を開始いたしました。

一方で、業務効率化による全社的なコスト節減につきましても引き続き推進しておりますが、積極的な販売促進活動に伴うマーケティング費用の増加及びIT基盤に対する償却費および運用費を吸収するまでには至りませんでした。

これらの結果、売上高5,888百万円（前年同期比1.8%増）、営業損失434百万円（前年同期は営業損失166百万円）、経常損失439百万円（前年同期は経常損失170百万円）、四半期純損失286百万円（前年同期は四半期純損失134百万円）となりました。

（注1）総務省「平成23年通信利用動向調査の結果」

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 『リテールビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高4,041百万円（前年同期比2.0%減）、売上総利益812百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

各種キャンペーンを実施する等販売促進活動を積極的に進めたほか、価格競争力のある商品への販売シフトや、当社インターネットサイトにおける新製品情報や掲載商品の詳細情報を充実させてまいりました。また、4月にはゴルフ専門店、ゴルフ場、ゴルフ練習場等を対象として当社が持つ中古クラブ査定データベースの提供サービスを開始し、売上高は前年並みを維持しました。しかしながら、ゴルフクラブを中心に長引く価格競争に伴う販売価格の下落が利益を圧迫し、売上総利益は前年同期を下回る結果となりました。

#### 『ゴルフ場ビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高1,340百万円（前年同期比18.0%増）、売上総利益1,283百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

インターネットを利用したゴルフ場予約が拡大していることを背景に、ゴルフ場運営グループ会社向けに効率的な営業体制を再構築しゴルフ場との一層の関係強化を図ったほか、各ゴルフ場への営業支援データの提供等細やかな営業活動等により提携コース数が増加しました。また、積極的なマーケティングコストの投下等により、ゴルフ場への送客人数は順調に増加、特に5月には過去最高を記録するなどして、売上高および売上総利益共に前年同期を大きく上回りました。

#### 『メディアビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高506百万円（前年同期比3.2%減）、売上総利益350百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

米国Conde Nast社との提携により可能となったゴルフクラブのレーティング企画「HOT LIST日本版」の開始や、

日米のゴルフトーナメントにおけるインターネットライブ中継の実施等により、メディアとしての媒体力は向上し、広告の受注は順調に進みました。一方、従来型フィーチャーフォンの有料会員数の減少に対し、前年末より開始したスマートフォンなど新デバイスを利用した有料コンテンツの収益がこれを補うまでに至らず、当部門全体の売上高及び売上総利益は前年同期を下回る結果となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が341百万円、商品が146百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が136百万円減少し、投資その他の資産が107百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ457百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加いたしました。これは主に買掛金が180百万円減少し、短期借入金及び一年内返済長期借入金が400百万円増加したことによるものであります。固定負債は833百万円となり、前連結会計年度末に比べ310百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が282百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失△286百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は23.4%（前連結会計年度末は26.1%）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して341百万円減少し、692百万円（前年同期比908百万円の減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、218百万円の支出（前年同期は423百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失413百万円、仕入債務の減少180百万円、リース解約金の支払171百万円等の資金の減少が、減価償却費289百万円、たな卸資産の減少132百万円、のれん償却52百万円、ポイント引当金の増加52百万円等の資金の増加を上回った事によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、205百万円の支出（前年同期は930百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出154百万円、有形固定資産の取得による支出44百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、82百万円の収入（前年同期は2,377百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額300百万円、長期借入金の返済による支出182百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年2月14日に発表しました「平成23年12月期 決算短信」に記載した業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

### （2）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,033,777	692,611
売掛金	1,321,004	1,388,026
商品	1,568,279	1,422,040
仕掛品	12	993
貯蔵品	4,840	18,079
その他	326,956	312,938
貸倒引当金	△1,433	△1,295
流動資産合計	4,253,437	3,833,394
固定資産		
有形固定資産	352,930	344,927
無形固定資産		
のれん	96,427	44,356
ソフトウェア	1,854,333	1,748,988
その他	225,336	245,860
無形固定資産合計	2,176,097	2,039,205
投資その他の資産		
その他	943,172	1,054,039
貸倒引当金	△1,248	△4,291
投資その他の資産合計	941,923	1,049,748
固定資産合計	3,470,951	3,433,881
資産合計	7,724,389	7,267,275
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,069,985	889,210
短期借入金	2,200,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	365,800	465,800
未払法人税等	7,198	8,800
ポイント引当金	226,651	278,984
その他	630,847	534,096
流動負債合計	4,500,483	4,676,892
固定負債		
長期借入金	1,018,300	735,400
役員退職慰労引当金	12,249	15,749
資産除去債務	4,363	5,750
その他	109,127	76,187
固定負債合計	1,144,040	833,087
負債合計	5,644,524	5,509,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	824,916	824,916
資本剰余金	786,035	786,035
利益剰余金	550,825	264,571
自己株式	△234,672	△234,672
株主資本合計	1,927,103	1,640,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,363	58,552
繰延ヘッジ損益	△470	△112
その他の包括利益累計額合計	88,893	58,439
新株予約権	63,867	58,005
純資産合計	2,079,864	1,757,295
負債純資産合計	7,724,389	7,267,275



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,782,162	5,888,257
売上原価	3,392,712	3,440,728
売上総利益	2,389,449	2,447,528
販売費及び一般管理費	2,555,496	2,882,219
営業損失(△)	△166,046	△434,690
営業外収益		
受取利息	500	271
受取配当金	57	792
不動産賃貸料	6,905	4,344
仕入割引	1,926	1,937
その他	399	1,548
営業外収益合計	9,789	8,895
営業外費用		
支払利息	13,989	13,343
その他	2	642
営業外費用合計	13,991	13,986
経常損失(△)	△170,247	△439,781
特別利益		
新株予約権戻入益	7,096	5,862
ポイント引当金戻入額	2,501	—
固定資産売却益	—	391
事業譲渡益	—	23,637
その他	138	—
特別利益合計	9,736	29,891
特別損失		
投資有価証券売却損	—	845
ゴルフ会員権売却損	—	1,757
店舗閉鎖損失	10,427	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,239	—
その他	—	959
特別損失合計	12,666	3,562
税金等調整前四半期純損失(△)	△173,178	△413,451
法人税、住民税及び事業税	6,855	5,180
法人税等調整額	△45,364	△132,378
法人税等合計	△38,508	△127,198
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△134,669	△286,253
四半期純損失(△)	△134,669	△286,253

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△134,669	△286,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,705	△30,811
繰延ヘッジ損益	110	357
その他の包括利益合計	24,815	△30,453
四半期包括利益	△109,853	△316,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,853	△316,707

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△173,178	△413,451
減価償却費	122,317	289,718
のれん償却額	52,070	52,070
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,501	52,332
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△101	2,905
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,270	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,499	3,499
受取利息及び受取配当金	△558	△1,064
支払利息	13,989	13,343
新株予約権戻入益	△7,096	△5,862
事業譲渡損益(△は益)	—	△23,637
店舗閉鎖損失	10,427	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,239	—
売上債権の増減額(△は増加)	154,135	△67,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△52,993	132,018
仕入債務の増減額(△は減少)	△403,521	△180,774
その他の資産の増減額(△は増加)	△24,535	32,896
その他の負債の増減額(△は減少)	△61,325	91,866
その他	△30,527	△8,544
小計	△395,390	△29,705
利息及び配当金の受取額	510	975
利息の支払額	△12,526	△13,452
リース解約金の支払額	—	△171,315
法人税等の還付額	2,465	306
法人税等の支払額	△18,566	△5,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	△423,507	△218,424
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,115	△44,112
無形固定資産の取得による支出	△958,725	△154,974
投資有価証券の売却による収入	—	4,438
関係会社株式の取得による支出	—	△13,000
その他	50,226	2,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△930,613	△205,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,800,000	300,000
長期借入れによる収入	900,000	—
長期借入金の返済による支出	△233,000	△182,900
リース債務の返済による支出	△55,066	△34,269
配当金の支払額	△34,664	△162
その他	428	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,377,697	82,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,023,576	△341,166
現金及び現金同等物の期首残高	577,702	1,033,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,601,278	692,611

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(当社と連結子会社との合併)

当社は、当社グループの管理業務の効率化を図ることを目的として、当社の100%子会社である株式会社インサイトを平成24年7月1日を効力発生日として吸収合併いたしました。

本合併の概要は以下のとおりであります。

①合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社インサイトは本合併により解散いたしました。

また、当社は株式会社インサイトの全株式を所有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加ならびに合併交付金の支払いは行っておりません。

②被合併会社の概要（平成24年7月1日現在）

1. 商号	株式会社インサイト
2. 本店所在地	東京都港区虎ノ門一丁目22番12号
3. 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石坂信也
4. 事業内容	ソフトウェアの開発・販売、システム保守
5. 資本金	10,000千円
6. 設立年月日	平成8年9月12日
7. 発行済株式数	200株
8. 決算期	12月末日
9. 純資産	14,177千円
10. 総資産	226,198千円
11. 直前事業年度の売上高（平成23年12月期）	451,229千円
12. 直前事業年度の当期純利益（平成23年12月期）	8,709千円

③合併後の状況

本合併による当社の商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金および決算期の変更はありません。

④会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。